



第4回 みよし手づくりプロジェクト 概要

★ 開催内容

日 時 平成22年11月25日(木) 19:00~21:30

場 所 三芳農村改善センター 大会議室

参加者 会員33名中26名



配布資料

- ・ 第4回みよし手づくりプロジェクト次第
- ・ 準備会説明資料
- ・ さあ始めよう！みよし手づくり大作戦！！
～地域づくりでの具体的な活動を考える～

会議次第

- 1 開会
- 2 前回の振り返りと本日の進め方
- 3 懇談会形式での話し合い(ワークショップ)
～休憩～
- 4 各班から話し合いの結果発表
- 5 地域づくり準備会について
- 6 その他
- 7 閉会



※今回の会議では、参加者の実施したい活動テーマ別に新しくグループ分けをして話し合いました。

(仮)元気班

主要テーマ1

- 三芳の祭りを一大イベントで盛り上げていく
- ・夜祭り拡大バージョン

主要テーマ2

- 住民交流を深めるためにイベントを実施しよう!!
- ・夜祭り
- ・フリーマーケット
- ・朝市
- ・サークル発表

主要テーマ3

- 夜祭りを応援しよう
- ・みんなで盛り上げよう
- (フリーマーケット、販売、体験etc)

主要テーマ4

- イベントで集まれる場所がほしい
- ・コミュニケーション、世代交流の場づくり
- ・夜祭り、合同祭り、文化祭の見直し、体育祭の見直し



主要テーマをもとに実際の活動について話し合い

誰が 誰と

- 元気班が中心になって
- ・よさこい、太鼓が主体となり何組か出場
- ・野菜農家、農産物生産者
- ・様々なサークルの方々
- ・フリマ参加者

いつ

春、5月、GW頃、初夏、夏、
農産物/野菜の多い時期

どこで

- ・小学校前、役場回り全体
- ・農村センター

どんな風に

- ・祭りの様に賑やかに
- ・PRは大事
- ・七夕祭り
- ・生で食べるトウモロコシ
- ・B級グルメを集める
- ・まずは今参加している団体で活動し、

将来的には遠方の団体にも出てほしい



(仮)交流班

主要テーマ1

日常的に幅広い人が集まれる場所をつくる

- ・公民館を有効活用
- ・図書を寄付してもらい、図書室を拡充し、親子で気軽に利用
- ・子どもたちの公園を

主要テーマ2

子育て環境をつくるために

- ・小学校の空き教室を利用して昔の遊びを教える

主要テーマ3

滝田公民館を中心とした拠点づくり

- ・キャンプ場 ・ハイキング(大会、キノコ狩り)

主要テーマ4

農業体験

- ・農家と子どものふれあい、お年寄りとの交流
- ・農家の人の特技を活かして交流を
- ・里山わんぱく塾の農業体験版
(月1回の農業体験)



主要テーマをもとに実際の活動について話し合い

滝田公民館

3月末で廃止となる



滝田公民館を利用して、親子の交流拠点にするアイデアがあった為、これはとても深刻な問題として、今回の議論となった。

- ・利用方法について
- ・地元の方々は知っているだろうか
- ・まだ市の方針も決まっていないので、この会で提案した方が良いのか
- ・この会で考えるか、それとも地元の人だけで考えるか

鎌田教授より

付箋は少なくとも、現実を突き詰められている中、とても充実した議論となっていました。アイデアも絞り込まれていて、出来上がったものの何倍も詳しい議論でした。

(仮)資源班

主要テーマ1

文化財・史跡を大事に

- ・里見八犬伝、名所・旧跡の活用
- ・マップづくり、ガイド養成
- ・増間の昔話

主要テーマ2

地域資源を活用するために

- ・ウォーキング・サイクリングマップの作成
- ・地域の歴史を残す場所(農機具など)をつくる

主要テーマ3

休耕地などを有効活用しよう

- ・菜の花、コスモス(四季を通して)
- ・里山づくり(ホテル)



主要テーマ4

買い物行くときに、近所の人に声をかけていく

- ・困っている人を助けてあげよう

主要テーマ5

缶詰加工の技術を活かしたい

- ・まずは体験から、将来的には販売も...
(竹の子、大豆など)

主要テーマをもとに実際の活動について話し合い

誰が

企画は地域づくり協議会が中心になって

誰と

- ・三芳の活動団体全員
- ・住民すべての人、三芳人材バンク

どんな風に

- ・団体が一同に会する交流会開催
- ・必要に応じて団体を調べる
- ・各団体との話し合いの場と、発表の機会を作る
- ・パンフレット、チラシを作りPRする
- ・村で行ったことを集大成する
- ・地域でどのような活動があるか調べる
- ・市民活動を照会するイベントを開催(例:バザーetc)
- ・住民がどんなボランティアをしているか知る



鎌田教授の全体講評

今回は、大変現実的なところで議論されたかなと思います。この地区の皆さんは、いろいろな人の組織がしっかりしている。既存の組織と新しくできる地域づくり協議会の関係はどうあるべきか。その組織の中に入り込んだ方が良いか、それとも入り込むとかではなく繋げていくのが良いか、など。しっかりと考えられていると思います。

それから、班を仮にでも元気・交流・資源と3つに分けたのが良かったと思います。元気班でも資源や交流の話をして、資源班でも元気や交流の話が出てきていました。3つドアがあったら、住民にとっても外から来た人にとっても、入口が3つならば入りやすい所から入れればよい。皆さんが今回班編成を希望されたということで、そのような観点が今回とてもよく、成功だったと思います。

これからはお酒でも入れてもっと意見も出てくるでしょうし、もっと楽しめる議論になると思いますよ。もう一踏ん張りなところです。頑張ってください！！



みよし手づくりプロジェクトから 地域づくり協議会準備委員会に

協議会の準備をしよう
設置に必要な取り決め

- ①準備会の編成
- ②代表者の選出
- ③準備会規約
- ④準備会で行うこと
- ⑤準備会予算

準備委員会で決めること

+

活動

- ①協議会組織の編成
- ②代表者の選出
- ③協議会規約
- ④地域づくり計画
- ⑤次年度の事業計画
- ⑥協議会予算
- ⑦協議会の目標
- ⑧協議会の名称
- ⑨設立総会の運営
- ⑩各種規約

三芳地域づくり協議会 準備委員会

グループ会議
(活動案を班ごとに作成)

(仮)元気班
(仮)交流班
(仮)活用班



代表者会議

(各班の代表者が規約などの素案を検討)

代表者

(仮)
元気班

代表者

(仮)
交流班

代表者

(仮)
活用班

地域づくり協議会準備委員会に向けて確認したこと

- 1 準備委員会と準備会の表現は同じ意味で、正式名称が準備委員会。
- 2 これからこのメンバーでこのように活動していきます。
 - 手づくりプロジェクトは今回で終了する。
 - 次回からは準備委員会として進めていく。
 - 代表者会議で準備会で決めることの素案をつくり、全体で提案し決定していく。
 - 3つのグループで活動の詳細を検討し提案していく。
- 3 これからは協議会結成に向けた話し合いを進めていきます。
- 4 準備委員会はこんな活動を進めていきます。
 - 各グループからの代表者の人数は定めず、多くの参加を期待します。
 - 手づくりプロジェクトのメンバーが準備委員会のメンバーとなる。
 - 各グループでは活動の詳細についての計画・立案を行う。
 - 規約や予算については、事務局がたたき台を示し、みんなで話し合う。
 - 代表者会議で検討し、全体で話し合っていく。

滝田公民館廃止に伴う4月からの利用について

- 市では4月以降の利用案が決まっていない。このままでは使用できなくなる見込み。
- 滝田公民館の利用について考える人たちで有志を募って会議を開いてはどうか。

次回の会議で代表者、規約、予算などについて話し合います。